

【 中学 2 年生 出張授業 中央労働金庫 報告】

〈進路指導(キャリア教育)の一環として、金融について学びました〉

実施日 : 2026 年 2 月 7 日(土) 2(3)時限目

内容 : 自身の未来の人生がどのようになるかを主体的に考えた上で、実際に費用がどのくらいかかるのか、その費用をどうやって確保できるのかを事例を通して理解することを目標に中央労働金庫松戸支店より 4 名の講師を招いて実施しました。

授業は、グループワークを中心に、左記の流れで学習しました。

グループワーク①では、私立学校に通っている生徒たちの教育費が生徒たちの想像以上であることなど、現在の人生にかかっている費用から将来かかるのかを想定して、費用について自ら考え、記録したうえで班内及び全体に発表することで情報共有しました。

グループワーク②では、①で共有したライフプランにかかる費用を融通するために必要な融資について学習を深めました。必要な費用を融通してもらう場合に、ど

のような仕組みで融資が行われているか、どのくらいまで融資が可能かということ、住宅ローンを題材に議論しました。

生徒たちの振り返りでは、「銀行がどのようにしてお金を貸す、貸さないを決めているのかわかりました」、「さまざまな要素をもとに考えることができた」といったコメントを残してくれました。また、全体的には、「何で銀行員になったのか」や「日本の平均生活費はどのくらいなのか」といった感想や、「もっと銀行の業務を実際にみてみたい」「現在の投資の仕組みについて知りたい」といったように意欲を高めるきっかけになった生徒もいました。

□contents
1.ろうきん(銀行)とは?
2.イントロダクション
3.本日のゴール
4.グループワーク① 「実際にライフプランにかかる費用を考えよう」
5.グループワーク② 「お金貸せる?ローンの担当者になってみよう」
6.本日のまとめ



①



②



③



④